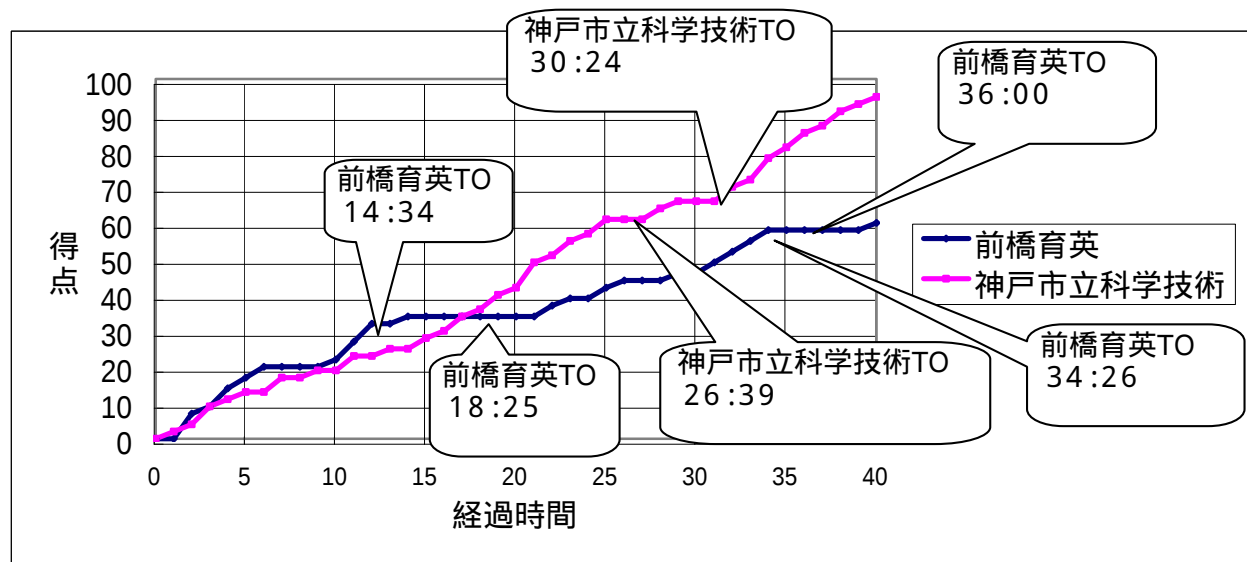


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	B5	16:10	男子 1回戦
期日会場	2007年（平成19年）7月29日（日）	前橋育英 60	群馬 ●	22 - 19 12 - 23 12 - 24 14 - 29 - 95 神戸市立科学技術 ○ 兵庫
会場	唐津市文化体育館			

主審 山内 俊幸

副審 真島 大成



前橋育英

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	佐藤 侑紀	6	2	0	0	3
○ 5	根岸 健太	9	1	2	2	4
6	中野 裕市	9	3	0	0	0
○ 7	高橋 竜也	10	2	1	2	3
○ 8	小林 拓也	5	1	1	0	0
9	福本 崇之	0	0	0	0	0
○ 10	真栄城 尚也	17	3	4	0	1
11	大島 健広	2	0	1	0	2
12	上村 祥生	2	0	1	0	2
13	小堀 恵太	0	0	0	0	0
14	味戸 直輝	0	0	0	0	0
15	原田 大輔	0	0	0	0	2
16						
17						
18						
コーチ	安西 智和					
	合計	60	12	10	4	

神戸市立科学技術

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	道原 紀晃	12	0	6	0	4
○ 5	黒川 拓馬	22	2	7	2	3
○ 6	浦 栄作	23	0	10	3	2
○ 7	宮下 達也	13	0	5	3	2
○ 8	石坪 佑規	8	0	3	2	1
9	小林 健太郎	0	0	0	0	0
10	荻野 直人	3	0	1	1	0
11	山本 拓矢	3	0	1	1	0
12	森田 暁彦	4	0	2	0	0
13	吉田 風太	7	1	2	0	0
14	橋ノ口 海	0	0	0	0	0
15	水鳥 匠悟	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	加藤 明広					
	合計	95	3	37	12	

○はスターター（はキャプテン） 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

厳しいディフェンスから走力を活かした攻撃を持ち味とする両チームの対戦は、攻めのディフェンスを貫いた神戸科学技術が勝利を収めた。第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。タイトなディフェンスの中、前橋育英は#6中野、#8小林が連続して3Pを決めると、神戸科学技術も#6浦がゴール下でねじ込み、主導権を譲らない。一進一退の攻防が続く22対19で第1Pが終了した。第2P、前橋育英が速攻や3Pを織りませ突き放しにかかる。しかし、神戸科学技術も#10荻野がバスケットカウントを決め、踏ん張りを見せる。残り5分、34対27となった所で前橋育英がタイムアウト。1 - 2 - 2ゾーンプレスから2 - 3ゾーンへとディフェンスを変え修正を図るが、ここから神戸科学技術の6連続ゴールが決まり逆転に成功。34対42で前半を終了した。第3P、出だしから神戸科学技術が畳み掛ける。#7宮下のバスケットカウントや#5黒川の速攻で残り3分44対64と一気にリードを広げる。46対66で最終ピリオドを迎えた。第4P、前橋育英は3P攻勢で粘りを見せる。しかし最後までスピードが落ちなかった神戸科学技術が所狭しと走り回り、60対95で2回戦へ進んだ。

記事者	金岩 貴之	(所属) 佐賀県バスケットボール協会
-----	-------	--------------------